

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

特集

若い世代がクラブ運営に参画しているクラブ

将来を見越して若い世代がクラブ運営を担っていく
～ NPO 法人クラブおおづ～



ココに注目!

- ① クラブマネジャーの齋藤陽子さん
- ② 世代交代を図り、若い世代でクラブ運営!
- ③ 「地域コミュニティ」=「町のチカラ」

1 クラブマネジャーの齋藤陽子さん

「NPO 法人クラブおおづ」のクラブマネジャーである齋藤陽子さんが、総合型クラブに関わりを持ったのは、自身の地元である大津町で平成15年に総合型クラブが設立されたことがきっかけです。齋藤さんは、小学生の頃から町の体育協会が主催する水泳教室に通い、将来はスポーツ指導者として、特に高齢者の健康づくりに取り組みたいと考えていたとき、「総合型クラブ」が果たすことのできる役割（地域コミュニティづくりの機能など）に関心を抱き、クラブに関わりました。

当初は、ボランティアスタッフとしてクラブに関わっていましたが、自身のスキル向上を目指し、民間フィットネスクラブでの勤務などを経て、平成23年に常勤のクラブマネジャーとして働き始めました。

2 若い世代をクラブに巻き込む!

クラブは設立当初、60歳代の方々が中心となり運営されていましたが、齋藤さんは年々変化していく地域の状況を踏まえると、若い世代がクラブ運営に関わる必要性を感じていました。そこで、クラブで活動している子どもたちの保護者に対して、声掛けを実施し、現在では、30～40歳代の方々がクラブ運営に関わってきています。一方で、これまで中心に活動されてきた60歳代の方々には、若い世代では持っていない地域の他団体とのネットワークを持っていることから、まだまだ頑張ってもらっています。齋藤さんは若い世代とベテラン世代の調整役として奮闘しています。

3 「地域コミュニティ」=「町のチカラ」

齋藤さんに総合型クラブで働くやりがいについて伺ったところ「クラブおおづの活動から生まれる地域コミュニティには、無限の可能性があると思う。そこにクラブの魅力を感じている」と答えました。総合型クラブは、スポーツを通じて、地域で人と人をつなぐことができたり、地域の問題・課題の解決に貢献できる、そういった可能性を信じているからこそクラブで頑張れるということでした。

また、クラブおおづでは新しい世代の発掘にも取り組んでおり、今年（平成26年）の4月からは、クラブで育った人材をクラブの職員として雇用することになりました。齋藤さんは、「将来、地域の子ども達が『クラブおおづのマネジャーになりたい』と夢を抱いてくれるような活動を展開していきたい」と語っていました。



クラブプロフィール

設立年月日：平成15年4月27日（平成20年9月1日NPO法人格取得）

地 域：熊本県菊池郡大津町

運 営：会員数 464名

予算規模 約1,000万円（平成24年度）

特 徴：子どもたちにスポーツの機会提供を目的に設立され、現在では多世代にわたりスポーツ活動を提供している。

連 絡 先：NPO法人クラブおおづ事務局

TEL・FAX：096-294-2922

E-mail：clubozu150427@yahoo.co.jp

クラブHP：<http://clubozu.com/concept.html>